



いただきます!

平成31年 1月号
杉並区立杉並第四小学校
栄養士 服部 悦子

あけましておめでとうございます



あたら しい一年が始まりました。今年も力を合わせて、安心・安全でおいしい給食作りに取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

全国学校給食週間 1月24日～30日



戦後、ララ（アジア救済委員会）の支援物資により、昭和21年12月24日に給食が再開されました。ちょうど冬休みに入るので、一ヶ月後の1月24日を学校給食の記念日とし、24日からの一週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。杉四小でも、給食にまつわる、様々なメニューをとり入れています。

4年生・「ミルク教室」出前授業



12月7日(金)、3・4校時に4年2組、5・6校時に4年1組で、食育の出前授業を行いました。株式会社明治のゲストティーチャー、小峰先生をお招きして、「ミルク教室・骨って大切」と「わくわく体験・生クリームからバターをつくる」というテーマで教えていただきました。ミルク教室では、「骨の役割」「骨とカルシウム」「骨ができるのは小中学生のとき」「丈夫な骨を作るには何が必要?」という学習をしました。わくわく体験では、容器に入れた生クリームを振って、バターを作りました。作ったバターは、クラッカーにのせて試食しました。

いろいろな教材が次々出てきて、みんな興味津々です。実際の牛の大きさのパネルにびっくり。

容器に入れた生クリームを3分間振り続けます。3分って意外に長い!



出来立てのバターはおいしい!



3年生・「わかめ学習」出前授業

12月11日(火)、3校時3年1組、4校時3年2組で、理研ビタミンの出前授業「わかめ学習」を実施しました。わかめ博士がお二人いらして、はじめに、わかめの原藻(実物)を見せてもらいました。そのわかめを実際に触って、においや色、感触などを観察した後、色が変わる実験もしました。お湯につけるとあら不思議、茶色から緑色に変化しました。わかめのヌルヌルの正体は食物繊維で、腸のお掃除をしてくれることも学びました。



いわてけん 岩手県から届いたわかめの原藻です。長さは2メートル60センチもありました。

ねつとう 熱湯につけたわかめが一瞬で茶色から緑色に変化したときには、歓声が上がりました。



地元野菜デーの取り組み



杉並区では、年に2~3回、「地元野菜デー」と題して、杉並区内の農産物を給食に活用する取り組みがあります。子供たちが農業に関心を持ち、給食を生きた教材として食育を充実させることが目的です。

今年は、台風の影響で作物の生育状況が思わしくないとのことで、野菜を納品してもらうことはできませんでした。その代わりに、12月12日(水)に区内農家の方(松庵で野菜を作っている栗原さん)が3年生に授業をしに来てくださいました。杉並区の農業のこと、作っている野菜の種類などについてお話ししていただいた後、子供たちからは「大変なことは何ですか。」「作っていて好きな野菜は何ですか。」など、たくさん質問が出ました。



高円寺周辺は畑がほとんどないため、実際に作物を作っている農家の方のお話を聞いたのは、子供たちにとって貴重な経験だったようです。

くまないのうか 区内農家の栗原さん。とても丁寧に質問に答えてくれました。授業の後、1組で子供たちと一緒に給食を食べました。